

2 用語集

用語	解説
アグリテック	農業に、スマート農業技術を含むICT(情報通信技術)等の先進技術を導入することで、省力・軽労化を図るなどの課題を解決すること。
環境制御技術	外気温度、ハウス内温度、湿度、日射、CO2などを測定し、効率よく植物が光合成を行えるよう施設内環境を制御する技術。
関係人口	移住した「定住人口」でも観光で訪れた「交流人口」でもない、農山漁村地域と様々な形で関わる人。
高収益作物	主食用米及び経営所得安定対策戦略作物助成等の対象作物以外の作物で、都道府県・市町村の農業振興計画等において位置付けられた振興すべき農産物等のこと。
飼養衛生管理基準	家畜の所有者が家畜飼養に係る衛生管理に関し最低限守るべき基準。家畜伝染病予防法において、飼養衛生管理基準を定め、それを遵守することが義務づけられている。
食材王国みやぎ	宮城の豊かな自然に囲まれた海・山・大地の育む食材の多彩さ、質の高さ、魅力を表す「メッセージ」であるとともに、これらの多彩な食材資源を基盤に食関連産業の振興を狙いとする民官の関係者共通の目指すべき「テーマ」として位置づけたもの。
食材王国みやぎの伊達な乾杯条例	県産酒による乾杯を推進するとともに、食材王国みやぎの豊かな食材の活用を通じて、地域の食文化を育むことにより、地域に根ざした酒造産業及び農林水産業の振興に寄与することを目的に令和元年10月に制定・施行された条例。
食のバリューチェーン	規模の大小に関わらず、農産物の生産から製造・加工、流通、消費に至る各段階の付加価値を高めながらつなぐ、食を基軸とした付加価値の連鎖のこと。
水田フル活用	水田を有効に活用し、食料自給率の向上を図る取り組み。米価の安定と農家所得の向上を目指し、水田のフル活用による、麦、大豆及び飼料用米など、主食用米以外の作物の生産を行うこと。
ストックマネジメント	施設の機能がどのように低下していくのか、どのタイミングで、どのような対策を取れば効率的に長寿命化できるのかを検討し、施設の機能保全を効率的に実施することを通じて、施設の有効活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減する取組。
ため池サポートセンター	農業用水を貯水する「農業用ため池」のうち、決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害等を与えるおそれがあるものを「防災重点農業用ため池」として選定しており、その施設管理者等に対して技術的な指導、助言等を行う機関のこと。
田んぼダム	水田下流域の農地や宅地の洪水被害を軽減させるため、大雨が降った時に雨水を水田に一時的に貯留し、排水路や河川への流出を抑制する取組のこと。
地域計画	各地域が抱える「人と農地の問題」の解決を図るため、地域の話合いにより市町村が作成するもので、「今後の中心となる経営体」や「将来の農地利用のあり方」、「今後の地域農業のあり方」などをまとめた計画。従来は、「人・農地プラン」とされていた。

畜産クラスター計画	地域の畜産の収益性向上を図るため、収益性向上のための取組、地域の関係者の役割分担等を記載した計画。
農業経営収入保険制度	全ての農産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償する制度。
農業水利施設	河川水等を効率よく利用できるよう土木技術で造られたダム、揚水機場、排水機場、水路等の水利施設のうち、農業用に使用されるもの。
農地集積・集約	農地の集積は、農地を所有し、又は借り入れること等により、利用する農地面積を拡大すること。農地の集約化は農地の利用権を交換すること等により、農作業を連続的に支障なく行えるようにすること。
農地の大区画化・汎用化	農地の面積を1ha以上に整備することを大区画化といい、農地に排水路及び暗きよを整備して水はけを良くし、麦、大豆等の畑作物を栽培できるようにすることを汎用化という。
農業・農村の有する多面的機能	農業・農村は「食」を支えているだけではなく、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの働きを持っており、このような様々な働きのこと。
農山漁村交流拡大プラットフォーム	農山漁村地域に人を呼び込むため、意欲のある農林漁業者や多種多様な企業・団体・個人等が参画し、既存の枠組みを超えて話し合い、連携することで、受入体制づくりとビジネス創出を図る仕組み。
農山漁村発イノベーション	6次産業化のほか、農山漁村の活用可能な地域資源を発掘し、磨き上げた上で、他分野と組み合わせる新しい事業を創出する取組
農泊	農山漁村地域ならではの伝統的な生活体験と地域の人々との交流を楽しみつつ、農家や古民家等での宿泊によって、旅行者にその土地の魅力を味わってもらおう農山漁村滞在型旅行。
農福連携	障がい者等の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組。
みやぎ食と農の県民条例基本計画	「みやぎ食と農の県民条例」(平成12年7月公布)に掲げる目標の実現に向け、農業・農村の振興に関する施策を効果的に実施するための基本的な計画として策定している。
豚熱	ウイルスによって引き起こされる豚やイノシシの伝染病であり、発熱、食欲不振、元気消失等の症状を示す。治療法はなく、豚で感染を確認した場合、家畜伝染病予防法に基づき殺処分や焼埋却処分等の防疫措置の対象となる。
流域治水	自治体や企業、住民など、河川流域に関わるものすべてで行う治水対策のこと。
GAP(Good Agricultural Practice 農業生産工程管理)	農業生産現場において、食品の安全確保などを目的とした適切な農業生産を実施するための管理ポイントを整理し、それを実践・記録する取組。
IoT	Internet of Things の略でモノのインターネットのこと。世の中に存在する様々なモノがインターネットに接続され、相互に情報をやり取りして、自動認識や自動制御、遠隔操作などを行うこと。
RTK(Real Time Kinematic)	地上に設置した基準局から、衛星測位に係る補正情報を配信して、測位精度を向上させるシステム。

(五十音順)